

いま、求められる 木の建築・活動とは



木の建築大賞・メンバーズチョイス賞
112年前の政府指定の米蔵をリノベーションした蔵「作楽」
- 1階は子育て支援、2階は建築設計事務所として、次世代へ歴史をつなぐ -



選考委員特別賞
こども園ひがしどおり



やま・もり再生賞
針生ほしっぱの家



木の活動賞
橋下宿山田屋再生プロジェクト

第13回木の建築賞

2017年度 近畿・中部地区

応募期間 2017年7月1日(土)～8月17日(木)

「いま、求められる木の建築・活動とは」というテーマの解釈は、それぞれの取り組みによって異なります。

「建築」であれば、人々に快適な場を提供する、建築デザインと空間構成、環境に対する考え方、それらを支える技術、その建築の持つ社会性などがあげられ、「活動」であれば、森林の育成に結びついた木材の利用、品質向上に関する技術開発とシステムの構築、伝統技術の継承、木の持つ良さを社会にアピールする運動や、活動を通じた社会への貢献などがあげられるかもしれません。

「木の建築賞」は、このような観点から木に関心のある人たちに応募を呼びかけ、優秀な建築・活動を顕彰することにより、木造文化の向上に寄与することを目的としています。

「いま、求められる木の建築・活動とは」を共に考えませんか。

主催：NPO木の建築フォーラム
共催：一般社団法人ウッドマイルズフォーラム
協賛：NPO木の建築フォーラム会員有志、特別協賛企業・団体 ほか

※写真は第12回受賞作品・活動



集成材建築賞
福島県国見町庁舎



木と住まい建築賞
あぶくま児童園

2017年度 第13回木の建築賞 実施要綱

○ 応募対象地域（建築物の所在地、又は活動地域）

近畿・中部地区

（石川県・富山県・福井県・岐阜県・愛知県・滋賀県・大阪府・京都府・奈良県・三重県・和歌山県・兵庫県）

○ 趣 旨

木の建築や木の利用に関わる活動を発表し、相互に評価するとともに、賞の選考過程をこれからの木の建築や活動のあるべき方向を探る議論の場とする。

○ 応募作品・活動

木材を主体とした建築作品または木材利用に関わる活動。（建築物の用途・規模、活動の内容・規模は問いません）

○ 選考の基準

以下の基準において一定の水準に達している建築・活動を木の建築賞として選考する。

また、その中からもっとも優れているものを木の建築大賞として選考する。

- ① 地域の文化や風土が表現され、木の建築文化と芸術の振興に寄与していること。
- ② 木材を主として用い、森林の保全、林業、木材産業の振興に寄与していること。
- ③ 地域の事業者や職人が主体となり、木の建築技術の継承や地場産業の発展に寄与していること。
- ④ 木材の持続可能な利活用が図られ、木の建築の修復や再利用、長寿化に寄与していること。

○ 選考方式

① 一次選考<書類選考>

② 二次選考<木の建築賞・木の活動賞発表会>

2017年10月28日(土) 会場(予定): 金沢学生のまち市民交流館 交流ホール

③ 公開現地審査会

④ 最終三次選考会

○ 賞

・木の建築大賞……1点

・木の建築賞(選考委員特別賞)……1~2点

・木の活動賞……1点

・木の建築賞(木の住宅賞)……1点

・木の建築賞(協賛賞)応募作品、活動の内容に応じて賞名を付け、協賛者より送られる賞……数点

・木の建築賞(入賞)……数点

・メンバーズチョイス賞……二次選考会時の投票で得票数が最も多いものを表彰する。メンバーズチョイス賞に限り、他賞とのダブル受賞があり得る。

○ 選考委員(敬称略・五十音順)

選考委員長

三澤文字 / MSD 代表

選考委員

安藤邦廣 / 里山建築研究所 主宰 筑波大学 名誉教授

泉 幸甫 / 泉幸甫建築研究所 日本大学 教授

杉本洋文 / 株式会社 計画・環境建築代表取締役 東海大学 教授

植本敬大 / 国立研究開発法人 建築研究所材料研究グループ 上席研究員

速水 亨 / 速水林業 代表 一般社団法人 日本林業経営者協会 顧問

藤田香織 / 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 准教授

藤原 敬 / 一般社団法人 ウッドマイルズフォーラム 理事長 財団法人 林業経済研究所 所長

松井郁夫 / 株式会社 松井郁夫建築設計事務所 所長

南 雄三 / 住宅技術 評論家

安井 昇 / 総設計集団一級建築士事務所 代表

山崎真理子 / 名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授

山辺豊彦 / 山辺構造設計事務所 代表

客員選考委員

後藤正美 / 金沢工業大学環境・建築学部建築系建築学科 教授

垂水弘夫 / 金沢工業大学環境・建築学部建築系建築学科 教授

横内敏人 / 有限会社 横内敏人建築設計事務所 所長 京都造形芸術大学 教授

藤岡龍介 / 藤岡建築研究室 代表

○ 応募推薦

応募地域で推薦も募集。他薦の作品設計者、活動主催者へは事務局より連絡します。

○ 応募条件

・応募資格、条件等は特にありません。応募点数の制限はありません。ただし、応募書類に虚偽の記載があると判明したときには入賞を取り消す場合があります。

・応募年度に開催が示された地域内における木の建築または木の活動であり、2007年1月以降の竣工完成もしくは活動であること。

・選考委員および客員選考委員、もしくはその関係者の応募は認めない。ただし、構造・設備設計や防耐火等の技術的サポートについて、関係する選考委員もしくは客員選考委員はその作品・活動の審査を行わない事を条件として応募を認める。

○ 応募方法

応募は次の①~③をもって応募完了となります。

① **2017年7月1日(土)~31日(月)** …Web上のエントリーフォームよりエントリー

② **2017年8月1日(火)~17日(木)** ※エントリー後、書類提出できます

…応募書類の提出: 応募概要書・建築・活動シートをメール送信 及び 郵送(宅配便可)の両方で送付

③ **2017年8月17日(木)まで** …応募費用の振込み

○ 応募の詳細

応募書類、応募費用、選考スケジュールなどの詳細は、下記のURLをご確認ください。

【木の建築賞HP】<http://kinokenchikusyou.com>

○ お問い合わせ、および応募書類送付先

NPO木の建築フォーラム事務局

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル4階

E-mail: kinokenchikusyou@gmail.com

TEL: 03-5840-6405 FAX: 03-5840-6406



木とふれあい建築賞
道の駅あいづ 湯川・会津坂下



木の建築賞
玄孫



木の建築賞
川通どれみ保育園



木の建築賞
下川町のトドマツオアイス



木の建築賞
太陽熱木材乾燥庫を活用した里山文化の創造的再興